

群馬/尾瀬かたしなエリア（片品村） のゼロカーボンパーク登録（全国第7号）

※令和4年4月21日時点

1. 群馬/尾瀬かたしなエリアと尾瀬国立公園

- ✓ 片品村は、尾瀬国立公園の南西部に位置し、日本百名山である至仏山や、日本最大の山地湿原である尾瀬ヶ原を有する。その壮大な湿原景観や高山植物を楽しみに多くの利用者が訪れる。
- ✓ 過去に幾度も開発の危機にさらされてきたが、多くの人々の努力により貴重な自然が保たれてきたことから、日本の「自然保護運動の原点」とも呼ばれる。
- ✓ 片品村は、令和4年2月にゼロカーボンシティを表明。



2. ゼロカーボンパークに向けた片品村の取組

① サステナブルツーリズム×ゼロカーボン観光の推進

- ・ 民間事業者、尾瀬戸倉観光協会、尾瀬認定ガイド協働による「尾瀬サステナブルツーリズム」、地元NPOと民間事業者の連携によるE-bike周遊ツーリズムを展開。
- ・ 「自然保護運動の原点」である尾瀬国立公園を次世代に継承するごみの持ち帰り運動、ありがとう尾瀬清掃活動を継続的に実施。
- ・ 有料ごみ袋を削減するためのマイバック活用推進、アウトドアメーカーとのコラボによるマイボトル活用を予定。



群馬/尾瀬かたしなエリア（片品村） のゼロカーボンパーク登録（全国第7号）

※令和4年4月21日時点

2. ゼロカーボンパークに向けた片品村の取組

②脱炭素に向けた再エネの導入と省エネ推進

- 入山拠点である鳩待山荘をリニューアルし、上質化事業による再生可能エネルギー導入と電化を促進。
- 山小屋（山ノ鼻地区）における高効率給湯器やLED照明など、省エネ省CO₂機器を導入。
- 村内では、IUターンの若者や子育て世代を対象にした移住定住促進住宅を推進。再生可能エネルギーと蓄電池の導入を予定。



③適切な森林管理等、CO₂固定吸収量の確保

- 民間事業者と連携し、尾瀬ヶ原湿原を保護する木道材に地元尾瀬戸倉山林（FSC認証）のカラマツ材を活用。森林吸収によるCO₂固定、地産地消による輸送コスト低減を推進。
- 尾瀬高校や地元民間企業が連携したCO₂固定に寄与する大清水湿原の回復作業「尾瀬の水芭蕉プロジェクト」を展開。

